

2004年4月から2011年10月までに当院に発症から24時間以内の脳梗塞および一過性脳虚血発作で入院された患者さんへのお知らせ

「急性期虚血性脳卒中患者における入院時血糖値と画像所見および予後に関する研究」に関する情報開示

平成23年11月1日
川崎医科大学附属病院
脳卒中科 下山 隆

脳出血の患者さんでは来院時に血糖値が高いと、麻痺やコミュニケーション障害などの後遺症が強く残る患者さんが多いと報告されています。一方で、血糖値が高い虚血性脳卒中（脳梗塞および一過性脳虚血発作）の患者さんの画像所見（CT、MRI、エコー、カテーテル検査）の特徴や予後についてはまだ詳しく分かっていません。そこで当院に入院された脳梗塞および一過性脳虚血発作患者さんの入院時の血糖値と画像検査の特徴およびその後の日常生活の状況などについて、患者さんの診療データを用いて後方視的調査研究を実施することにいたしました。

この研究は、2004年4月から2011年10月までに発症から24時間以内に入院された、脳梗塞および一過性脳虚血発作と診断された患者さんを対象としております。診療で得られた血糖値を含む血液検査および画像（CT、MRI、エコー、カテーテル検査）所見と脳卒中の重症度スケールを比較して検討を行います。今回、この研究を行なうことについて患者さんのご理解とご協力を賜りたく存じます。またこの研究で得られた内容を学会や科学雑誌で公表することにつきましてもご了承いただきたく存じます。患者さんの情報については個人名や個人を特定できるデータは伏せており、当院の個人情報保護規定に従って厳密に管理し、第三者が閲覧することはありません。また、この研究で患者さんは不利益を被ることはないと考えております。なお本研究は当院倫理委員会の承認を得ております。利益相反については、当院利益相反委員会に自己申告書を提出し承認を得ております。この研究に対して、ご質問がある方は、下記担当者までご連絡ください。

担当： 川崎医科大学 脳卒中医学教室 臨床助教 下山 隆
岡山県倉敷市松島 577 TEL：086-462-1111
FAX：086-464-1128